

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		県単交通安全施設等整備事業		路河川名等	(主)大町麻績インター千曲線						
事業毎の通番		5	市町村名	大町市	箇所名(ふりがな)	大平～矢下(おおだいらからやした)					
事業概要	事業目的	当路線は大町市と国道19号を結ぶ道路であり、交通量が多い。しかし、当区間では八坂小学校の通学路に指定されているが、歩道が未整備であるため、通学時の児童の安全が脅かされている。地域住民からも安全対策要望が高まっているため、歩道整備により歩行者の安全を確保する。									
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり		事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律						
	関連する事業、計画等	H24通学路緊急合同点検									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	八坂小学校 通学者他 観光客 現況自動車交通量:1,686台/日、現況自転車歩行者交通量:205台・人/12h									
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)					
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	—	国庫	—	—	県債	70,000	一般財源	—
	全体事業内容(主な工種)	歩道設置工(片側) L=500m W=2.5m			70,000	—	—	70,000	—		
	年度事業内容(主な工種)	測量・設計 1式			2,000	—	—	2,000	—		
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される								
		間接的効果(定量的・定性的)	通学路の最短化 通行車両の交通事故抑制								
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量 : 1,686台/日 ○現況自転車歩行者交通量 : 205台・人/12h						評価	A		
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 1つ整合(通学路緊急合同点検(H24)) ○緊急輸送道路の路線指定 : 2次緊急輸送路						評価	A		
	効率性	○事業期間 : 4年間(H27～H30)						評価	B		
	緊急性	○近年の交通事故件数 : なし ○通学路対策 : H24緊急合同点検を踏まえた対策箇所(大町市立八坂小学校) ○現況の歩道幅員 : 歩道なし						評価	B		
	計画熟度	○事業情報の共有 : 周知していない ○地域の取り組み : 協力的である。(地域住民や市町村から事業計画に対して要望あり) ○地域の合意形成 : 現時点では合意形成が図られていない(不明) ○住民との協働 : 地元住民とともに交通安全方法を検討						評価	C		
	部意見	通学路であり、歩行者交通量が多い区間。路肩が狭くカーブ区間であり見通しが悪いため、早期に歩道の整備を行い通学児童の安全を確保する必要がある。		行政改革課意見	必要性、重要性が認められる。		評価結果	○	総合評価	B	

**位置図**

**標準横断面図**

**平面図**

**状況写真**

**事業概要説明図表**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当箇所は、八坂小学校の通学路であり、歩行者も多いが、歩道がなく危険な状況。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	大町市八坂支所より、毎年要望が出されている。
③事業説明等の経緯	特になし
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県地域防災計画(第2次緊急輸送路)
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	現道に歩道を設置することにより、住民生活環境を大きく変えることはない。
⑥地域活性化への影響と配慮	歩道設置がされると、歩行者の安全が確保され、観光客も歩きやすくなり、地域が活性化される。
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度

北緯	N 36° 29' 11.84"
東経	E 137° 54' 23.78"